

競 技 注 意 事 項

1. 本記録会は、平成29年度日本陸上競技連盟規則、並びに本大会規定により実施する。
2. トラック種目は、電気計時により全員計時する。
スタートはイングリッシュコマンドとし、2回目に不正スタートをした者（チーム）は失格とする。
3. 走高跳のバーの上げ方は、下記の通りを基本とするが、組ごとのスタートの高さは協議して決定する。
男子（練習1m20） 1m25～1m70まで、5cmずつ 1m70以降、3cmずつ上げる。
女子（練習1m10） 1m15～1m45まで、5cmずつ 1m45以降、3cmずつ上げる。
4. 走幅跳、砲丸投、円盤投は、計測ラインを設定することがある。
5. 召集について
 - (1) 召集場所 本記録会では、全て競技開始場所へ現地集合とする。
トラック競技 種目ごとのスタート地点（リレーはオーダー記入を完了のこと）
フィールド競技 競技場所（ピット）
 - (2) 召集時刻
召集開始時刻 召集完了時刻
トラック競技 競技開始20分前 競技開始10分前
フィールド競技 競技開始30分前 競技開始20分前
 - (3) 時間繰上 トラック種目においては、競技の進行状況により競技開始時刻を繰り上げる場合がある。
その際は、アナウンスにより連絡するので、注意すること。選手は、召集開始時刻より前に集合場所へ集まるようにする。
 - (4) リレーオーダー リレー召集開始時刻の1時間前までに、記録室までオーダー用紙を提出する。
オーダー用紙は、学校受付時に配布する。
5. ナンバーカードは召集前に、100mスタート地点へ、各自でとりに行くこと（本大会のみの方法）。
6. 器具は、全て競技場備え付けの器具を使用すること。
7. スパイクシューズのピンは9mm以下のピン（走高跳は12mm以下）であること。
8. ウォーミングアップについて
 - ・ メイン競技場バックストレートでの練習は、安全に十分注意して行うこと。周回種目が始まる時には、一時的に練習中止の指示があるので従うこと。
 - ・ メイン競技場北側の補助競技場（サブトラック）を開放するので、安全に注意して利用すること。
 - ・ メイン競技場、補助競技場以外の公園敷地内での練習は行わないこと。
 - ・ ハードル競技練習は、メイン競技場に大会本部で設置したハードルを使用してください。個人用ハードルの設置は認めません。
 - ・ 投てき種目の練習は、補助競技場（サブトラック）において、メディシンボールの使用は認める（砲丸、円盤は使用しない）が、十分安全に注意して行うこと。
9. 応援は全てスタンドで行い、競技を行うトラックの場所へは競技をする時以外は降りてこない。
付き添いは認めない。
10. トラック種目でゴールをした選手がスタート地点へ戻る際は、メインスタンド裏、もしくはバックストレート側を通り戻る。本部席前や本部席後ろの通路の通行は一切認めない。
11. 各校において生徒のマナー（観覧・応援態度、競技中の態度、交通機関の利用等）の指導を徹底すること。
メインスタンド上の観客席を利用する学校は、特にスタンドの使用の仕方を徹底してください。
12. 貴重品は各自で責任を持ち、忘れ物がないようにすること。
13. 競技中のケガや疾病については、応急手当は行いますが、主催者は一切その責任を負いません。
14. 更衣室の使用は、女子が更衣する時のみの利用とし、ベンチとしての使用は禁止します。
15. 雨天の場合は、雨天練習場をベンチとして使用します。
16. ゴミの処理について
各自が出したゴミは、各自の責任において家庭まで持ち帰り下さい。
各中学校は、競技場を出る前に必ず自校の使用したベンチ付近の清掃を行い、ゴミが残っていない状態を確認して下さい。